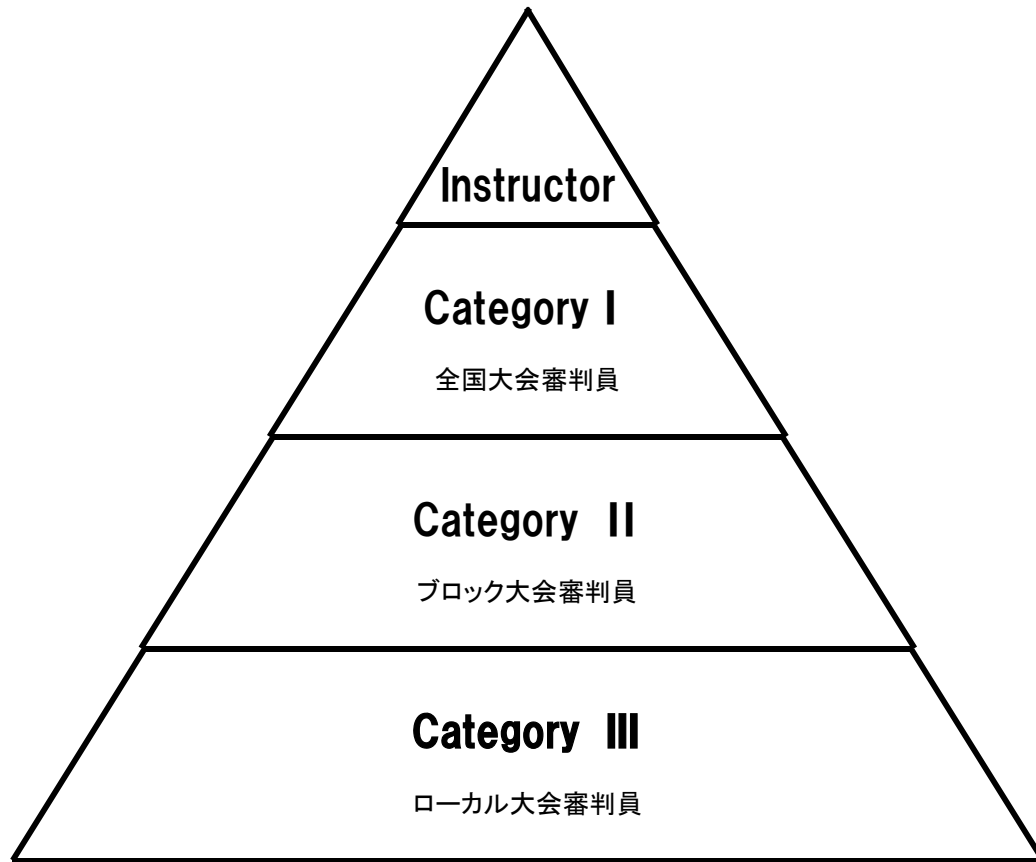


審判ライセンスと業務内容



※2018年の登録時までには各クラブにCategoryⅢ以上の資格保持者を1名置くことを必須とする。

※Ⅲ級の認定はブロック毎で行う。(ただし、カリキュラム内容は同一とする。)

※Ⅰ級取得者は毎年必ずクリニック受講を義務付ける。

※クリニックの定義

クリニック内容は全国大会・選抜大会・クイーンズカップ・女子オープン・各ブロック大会の審判会議への出席とし、実技はジャッジ・レフリーを6試合程度行う。

※Ⅲ級からⅡ級への昇級試験は学科(復習)・実技とする。

※試験はブロック大会の他、連盟の指定する大会で行う。

(中部大会・吹田市民大会・うずしお大会・スプリング大会など)

※Ⅱ級からⅠ級への昇級試験は学科・実技とし、全国大会・選抜大会で行う。

可否を設け、審判委員会の委員3名が試験官を務める。

※問題の作成は審判委員(黒野委員・筒井委員)が行う。

Category	業務内容
Instructor / 大会審判長(副審判長) ブロック審判委員会がブロックの理事会に推薦し、協議した後、連盟理事会にて認定する。 受験料金:なし / 年間登録費:3,000円	・審判講習会の統括を行う。 ・各Categoryの学科講義内容の作成並びに実技評価、試験問題を作成する。 ・ルールやマナーの問題点等を審判委員会を通し理事会に提起する。 ・連盟主催の全国大会でマット長となり、コントローラーに適切な指示を与える。 ・審判員の技術指導に当たる。
Category I / 全国大会審判員(副審判長) 受験資格は、CategoryⅡ取得後2年を経過し、ブロック大会の実務経験があり、ブロック審判長が推薦する者。 連盟審判委員会が主催する審判講習会において、クリニックに参加する。 受験料金：3,000円 / 年間登録費：3,000円	・連盟主催全国大会にてレフリー、ジャッジの他にコントローラーを務める事が出来る。 ・常に安全に配慮し、けがの未然防止に尽力するとともに、地球環境に配慮する。 ・CategoryⅡ・Ⅲへの技術指導に当たる。 ・円滑な全国大会運営に寄与する。 ・ルール/マナーの問題点を審判委員会に提起する。 ・インストラクターとともに講習会を運営する。
Category II / ブロック大会審判員(審判長、副審判長) 受験資格は、CategoryⅢ取得後1年以上を経過し、年5回以上の実務経験があり、ブロック審判長が推薦する者。 連盟審判委員会が主催する審判講習会において、学科、実技、筆記試験を行う。 受験料金：3,000円 / 年間登録費：3,000円	・ブロック大会にてレフリー、ジャッジの他にコントローラーを務める事が出来る。 ・連盟審判委員会が主催する審判講習会において受験資格が与えられ、合格すると、CategoryⅡへと昇級できる。 ・常に安全に配慮し、けがの未然防止に尽力するとともに、地球環境に配慮する。 ・審判業務以外の大会運営を学習する。
Category III / ローカル大会審判員 受験資格は、18歳以上の健康な男女で、クラブ代表者が審判員として相応しいと認め推薦する者。 ブロック審判委員会が主催する審判講習会において、学科、実技、筆記試験を行う。(ルールの理解度を確認する) ブロックの審判長もしくは、理事長が認定する。 受験料金：2,000円 / 年間登録費：なし	・審判員キャリアのスタート Categoryで、初めて審判員を務める者はここからスキルアップを目指す。 ・ローカル大会のレフリー・ジャッジを務める。 ・ブロック連盟審判委員会が主催する審判講習会において受験資格が与えられ、合格すると、CategoryⅢの資格が与えられる。